

静岡県立こころの医療センター洗濯等業務仕様書

静岡県立こころの医療センターの洗濯等業務については、契約書に定めるもののほか、この仕様書に定めるところによる。

1 業務内容

下記に掲げる洗濯業務及び付随業務を医療法施行規則第9条の14及び関連する通達、乙の作成した標準作業書等（以下、「通達等」という。）に基づき行う。

- (1) 別紙2-1に定める品目（以下、「洗濯品」という。）の、乙の所有する施設における洗濯、殺菌、プレス、また折りたたみ等の仕上。
- (2) 洗濯品の数量確認、また甲の施設と乙の施設間の運搬（搬出及び搬入・納入）
- (3) その他、甲乙協議して定める業務

2 業務実施日

甲の指定する曜日を原則とし、年末年始及び土日祝休日が3日以上連続する場合は、別途、協議する。

3 連絡体制

乙は、業務遂行上の問題が発生した場合、甲と速やかに協議し、問題点の整理・解決に努めること。

4 実施結果の報告

乙は、毎月の作業内容を集約し、別紙2-2の様式による業務月報に記入し、翌月5日までに甲に提出しその承認を得ること。

5 検 収

月報に基づき実施する。

6 苦情処理及び措置

甲は、院内の各セクションからの苦情があったときは速やかに乙に伝達すること。緊急性を要するときは口頭での伝達とし、それ以外のものは文書により伝達するので、乙は対応策をすみやかに提示し実施しなければならない。

7 委託単価

委託業務の料金単価は別紙2-1のとおり定める。

8 病毒感染防止等

- (1) 甲は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の第6条第2項から第5項まで又は第7項に規定する感染症の病原体により感染されている恐れのあるもの及び、放射性同位元素により汚染されている恐れのあるものの洗濯を原則として乙に委託できない。
- (2) 甲は、病毒感染の危険があるもので乙が受託に同意したもの、あるいは血液、体液、排泄物等が付着している等感染防止対策が必要なものの洗濯を乙に委託する場合は、病毒感染の危険がある洗濯物であることを表示すること。乙は、この洗濯物を他と区別してプラスチック袋等の密封した容器に封入し搬送の上、高圧蒸気滅菌等の殺菌処理を行う等、他に感染する恐れがないように取り扱うものとする。

9 その他

本仕様書に疑義が生じた場合は、法令等によるほか、甲乙双方協議して定めるものとする。